

津田塾大学言語文化研究所主催講演会

下記の要領で学術講演会を開催致します。多くみなさまのご来場をお待ちしております。

記

時：2013年11月16日（土）14:00~16:00

所：津田塾大学 小平キャンパス 7号館 1階 中島記念ホール

講師：酒井邦嘉氏（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

演題：「人間の言語の基礎とは」

講演要旨：

人間を他の動物と分ける3つの要素は、「言葉の使用・道具の使用・火の使用」だと言われるが、実はどれも不十分な答である。これらの要素はすべて、言語の本能が人間の脳に備わっていることに関係している。文を理解している時の脳の活動の様子を実際に測ることで、文法に特化した場所（文法中枢）が明らかになっている。我々のグループは、脳活動の個人差を機能的磁気共鳴画像法（fMRI）で調べ、文法や文章理解などに関係する複数の脳部位（言語野）を特定してきた。講演では、文の木構造の計算原理を解明した最新の知見を紹介しながら、人間の言語の特異性について議論したい。

講師プロフィール：

酒井邦嘉（さかい・くによし）

東京大学大学院総合文化研究科教授、理学系研究科物理学専攻教授兼任

1992年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。1992年東京大学医学部 助手、1996年マサチューセッツ工科大学 客員研究員、1997年東京大学大学院総合文化研究科 助教授・准教授を経て、2012年より現職。2002年第56回毎日出版文化賞、2005年第19回塚原伸晃記念賞を受賞。専門は言語脳科学および脳機能イメージング。著書に『言語の脳科学』、『科学者という仕事』（中公新書）、『脳の言語地図』、『ことばの冒険』、『こころの冒険』（明治書院）、『脳を創る読書』（実業之日本社）などがある。

講演会終了後、懇親会を催します。なお、講演会、懇親会ともに無料、懇親会参加の予約は不要です。

講演会参加申し込み/問い合わせ先：

津田塾大学 言語文化研究所 genbunken@tsuda.ac.jp